



## 部活動における不適切指導・体罰・暴言の根絶に向けて

令和7年11月6日

笠間市内中・義務教育学校教職員の皆様へ

部活動は、生徒の心と体の成長を促し、社会性を育む貴重な教育活動です。教職員の皆様には、生徒一人ひとりの人権を尊重し、安全・安心な環境で指導に当たっていただくよう、心からお願いいたします。

### 1 人権尊重と教育的意義の再確認

「体罰」は、いかなる理由があっても絶対に許されない行為です。「暴言」は、生徒の尊重を傷つけ、指導者との信頼関係を一瞬にして失わせます。厳しい指導と暴力・暴言は明確に区別し、常に生徒の人権を尊重した指導を徹底してください。

部活動の目的は勝利だけではありません。生徒が自主性、協調性、そして自己肯定感を育む場であることを再認識しましょう。

### 2 指導の在り方を見直す

感情的にならず、温かく冷静な指導をお願いします。指導中に感情的になりそうになったら、一旦立ち止まり、深呼吸してください。指導の場を離れる「クールダウン」も有効です。

### 3 生徒の声に耳を傾ける

生徒の気持ちや困り事を丁寧に聞き取り、生徒の立場に寄り添った指導を心がけてください。生徒の「心の声」にも敏感になりましょう。

### 4 やる気を引き出す言葉かけ

否定的な言葉ではなく、「もう一度、一緒に頑張ってみよう。」「ここを工夫したら、きっと良くなる。」といった、前向きな言葉で生徒の「できた」を積み重ね、成長を促してください。

### 5 組織的な対応の強化

部活動の指導を一人の教員に任せきりにせず、チームとして指導内容や課題を情報共有し、組織的に対応する仕組みを強化しましょう。

### 6 風通しの良い職場環境を

教職員間で指導方法について意見交換ができるようにし、体罰や不適切指導を容認しない風土を全員で作っていきましょう。

### 7 早期発見・早期対応を

異変に気付いたら、「見て見ぬふり」をせず、すぐに管理職や関係教職員に報告・相談し、問題を抱え込まずに対応してください。

部活動は、生徒が将来にわたって「生きる力」を育む、かけがえのない時間でもあります。生徒の笑顔のために、改めて「愛のある適切な指導」を実践していただきますよう、心からお願い申し上げます。

笠間市教育委員会教育長 小沼 公道

今後自分にできること

|  |
|--|
|  |
|--|